



#### 地下水盆管理学とは...

- ① 地下水資源を地下水盆という単元でとらえる学問
- ② 地下水の過剰揚水で発生した地盤 沈下をはじめとするさまざまな地下 水障害に対処してきた実践により 生まれた学問

### 地下水盆管理の方法...

- ① 直接目にすることが難しい地下水の 流動を把握する
- ② 地下水盆を単元としてその水収支を解析する

# 地下水盆管理学の基礎...

- ① 水文地質学 Hydrogeology
- ② 地下水学
  Groundwater Hydrology

## 授業計画(1)

- (1)帯水層と地下水盆
- (2)地下水の存在形態
- (3)地下水の流動
- (4)地下水盆の水収支
- (5)地下水の水質

0

# 授業計画(2)

- (6)地下水利用
- (7)帯水層からの揚水
- (8)地下水障害(地盤沈下)
- (9)地下水障害(塩水侵入)
- (10)地下水盆管理の基本

### 授業計画(3)

- (11)地下水の計測と評価(揚水試験)
- (12)地下水の計測と評価(水位・水質)
- (13)地下水シミュレーション(基礎)
- (14)地下水シミュレーション(実践)
- (15)地下水盆の評価と管理(国内・海外)
- (16)正規試験

# 講義資料について

毎回、授業の前日までに、講義資料(PDF ファイル)を柴崎研究室HPにアップします。

http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nshiba/

#### 単位認定基準(1)

地下水の基本的性格や、地下水の存在を規定する帯水層および地下水盆について理解できる。

10

## 単位認定基準(2)

地下水利用と地下水障害発生の経緯 を踏まえ、地下水資源の開発と保全に 必要な地下水盆管理の基本的事項を 理解できる。

## 単位認定基準(3)

地下水盆の管理と評価に必要なモニタ リングおよびモデリング技術の基礎を理 解できる。

12



#### 成績評価の基準

S:単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた(90~100点)

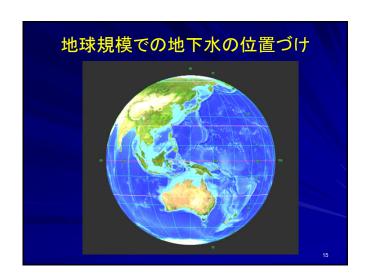
A:単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた(80~89点)

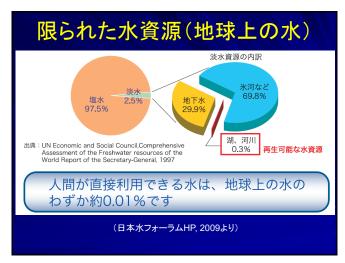
B:単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた(70~79点)

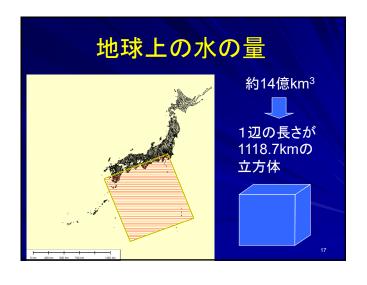
C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた(60~69点)

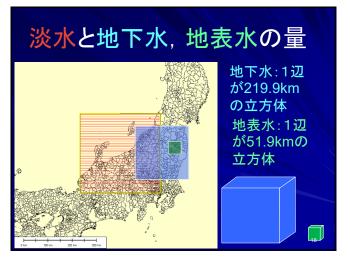
F:単位認定基準の学修成果をあげられなかった(~59点)

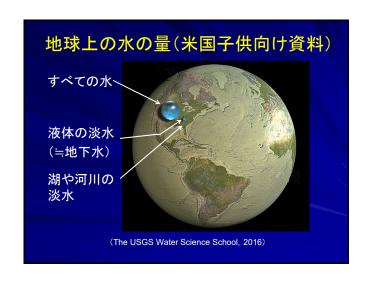
14

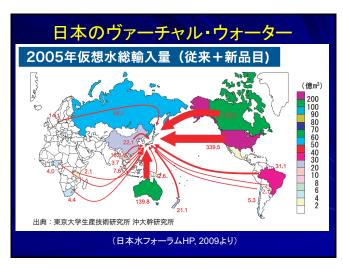










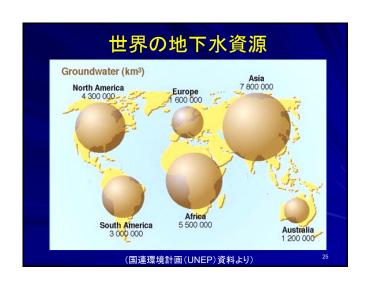


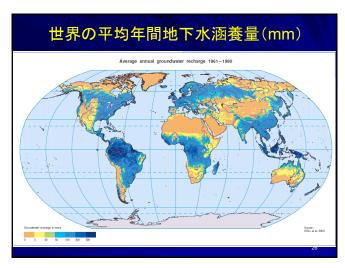


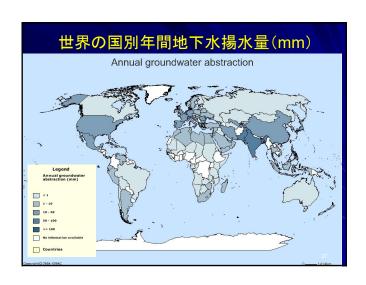


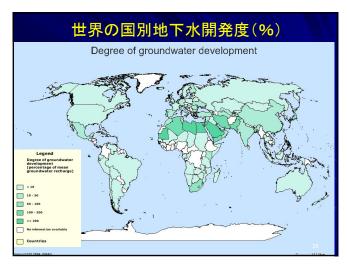


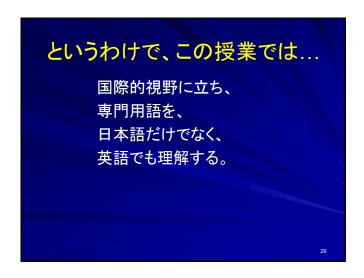






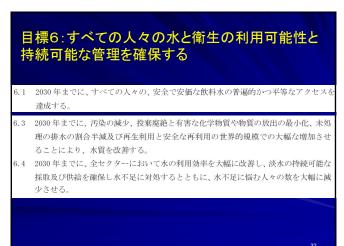






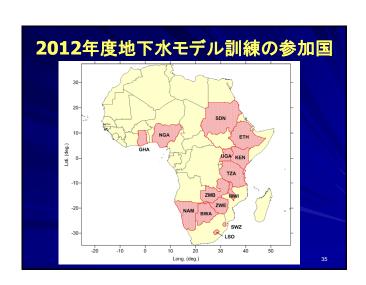


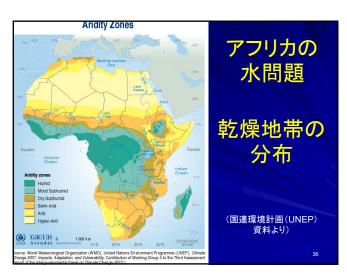


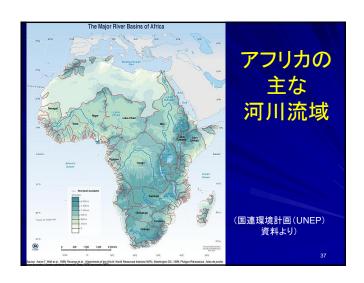


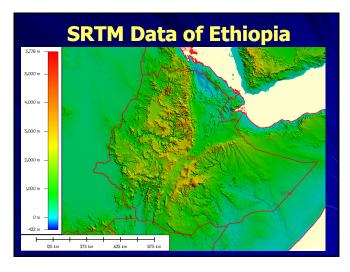
# 目標6:すべての人々の水と衛生の利用可能性と 持続可能な管理を確保する 6.5 2030 年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。 6.6 2020 年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。 6.a 2030 年までに、集水、海水淡水化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術など、開発途上国における水と衛生分野での活動や計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。 6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化する。

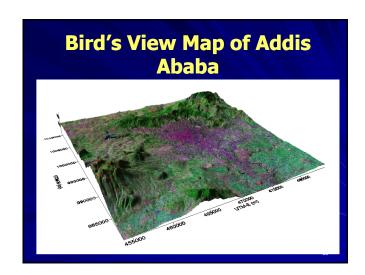




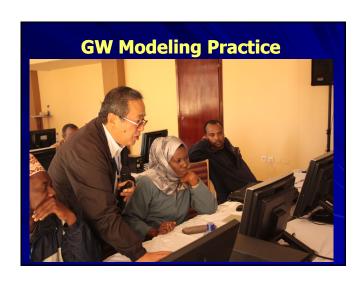


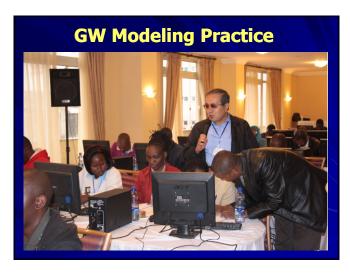


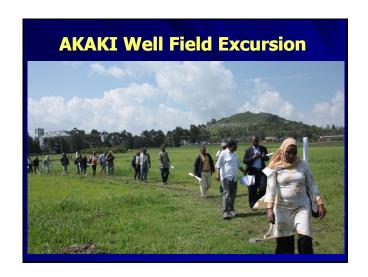


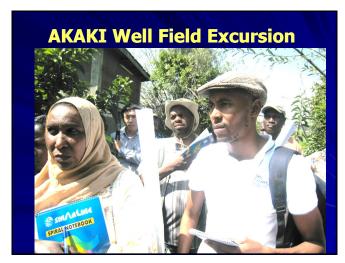






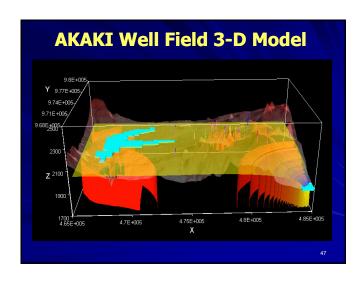












地下水(Groundwater)とは?
広義:地下に存在するすべての水のこと
狭義:地下水面より下位にある水のこと。
ただし、マグマ水(地殻の内部で生成された水)は含まない。
地下水面より上位の部分:不飽和帯
地下水面より下位の部分:飽和帯

